今養版キャリアプランニング・マトリックス～生涯の観点～（試案・令和3年2月現在）

資料1-3②

基礎的・汎用的能力の視点	指導観点	観点の中身（解説）	具体的な要素（例）	指導の柱	１学年段階 （学びを通して気づく・知る）	２学年段階 （将来を意識し、自ら学ぶ・行動する）	３学年段階 （将来を見据え、自ら学ぶ・行動する）		生涯にわたっての段階 （就労定着を目指して思考・判断・表現する）
人間関係形成・社会形成能力	コミュニケーション	・表現力 ・声の大きさ ・あいさつ・返事 ・報告・連絡・相談 ・言葉遣い ・話す・聞く ・協調性 ・人づきあい ・他者理解 ・感じる力	コミュニケーション・スキル	自分から相手に発信	○場や状況に合わせた声の大きさで、挨拶・返事・報告ができる ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。	○場や状況に応じ、自分の考えを発信することができる。	○その場に応じた挨拶・返事・報告や相手の人権を尊重した発言をすることができる。	学校教育目標の達成	㊫TPOに合わせた距離感を学び続け、実践することができる。 ㊭自分の現状の実力を正しく理解し、自分の立ち場や周囲との関係性を正しく構築することができる。 ㊭異性との距離や言葉遣いなどについて、常に緊張感をもって場に応じた対応をすることができる。
			コミュニケーション・スキル	状況に応じた言葉遣いや振る舞い	○積極的に話したり行動したりすることができる。 ○敬語を使って話し、季節に合った服装、身だしなみを心がけることができる。 ○自分の思いや意見を表現することができる。	○タイミングや周りを見て話したり行動したりすることができる。 ○場に合った言葉遣い、服装、身だしなみを心がけることができる。 ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。	○相手の立場を考えて話したり行動したりすることができる。 ○場や状況に応じた適切な言葉遣い、服装、身だしなみを心がけることができる。 ○集団の中で、相手の意見も聞き入れながら自分の思いや意見を適切に表現することができる。		㊫TPOに合わせた振る舞い方を学び続け、実践することができる。 ㊭施設に馴染むための行動が取られる。 ㊭障がい特性を踏まえ、周囲と調和してはたらく術を身につけ、それを職場で生かすことができる。
			他者に働きかける力	必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力	○必要な支援を他者に求めることができる。	○必要な情報を伝えたり、自分の悩みを話せたりする関係を築き自分の思いや意見を適切に伝えることができる。	○内容により話す相手を選択し、適切に端的に伝えることができる。		㊫同僚、上司、相談機関、卒後支援など、日常から相談できる相手を選択・決定し、日常から自分の状況を言葉で適切に伝え、支援を求めることができる。 ㊭メールや画像添付、成果物などをとおして、的確に上司や仲間に報連相することができる。
			他者の個性を理解する力	相手を受け入れ、自らそこに参加する	○相手の考え・気持ちを受け入れたり、集団に合わせたりすることができる。 ○自分と相手の違いに気付き、異性や異年齢の人たちと共に活動することができる。	○相手の立場や考え方を理解して受け入れ、かかわることができる。	○自分や他者のよい点を認め、思いやりを持って、よりよい人間関係を作り上げることができる。		㊫日常から感謝の心や敬う気持ちを持ち、人と接することができる。 ㊫物事を柔軟に受け入れる心を育む習慣を身につけることができる。 ㊭天候や予定、人などの環境変化に適応できる。 ㊭出身地や居住地の環境を生かし、お客様とコミュニケーションをとることを通して、愛される存在になることができる。 ㊭自己主張や悪口、陰口などを言わず、周囲への気配り職場の和を保つことができる。 ㊭会社に対して「働かせていただいている」という姿勢でいることができる。
	応用力	・洞察力 ・理解力 ・柔軟性 ・自己統制力 ・協力	チームワーク	人間関係	○集団活動に参加し、他者と協力することができる。	○集団において自分が果たす役割を理解し、周りと協力することができる。	○集団の一員として自ら役割を理解し、協力していくとともに、その役割を遂行していくことができる。		㊫職場での役割を理解し、職場に貢献するために必要な対人面での資質を高める（雰囲気や場の空気を読む、柔軟性など）。 ㊭職場でのコミュニケーションを適切にとることができる。 ㊭職場の人との協調性を保つことができる。
			チームワーク		○協調性を大切にして集団での活動に取り組むことができる。	○受信力と発信力のバランスを考えて集団に貢献する取り組みができる。	○リーダーとフォロアーの立場を理解し、チームとして協力・共同して活動に取り組むことができる。		㊫上司や職場の方から言われたことを忠実に守り、職場に貢献できる取り組みを常に心掛ける。 ㊫社会人になってからの年数に応じた振る舞いを心掛ける。 ㊭上司からの指示や指導を正しく理解し、それに従うことができる。 ㊭挨拶、返事、目を見て聞く、指導に対して素直に聞くことができる。
自己理解・自己管理能力	心と体	・元気 ・体力 ・健康 ・食生活 ・睡眠・休養 ・規則正しい生活 ・ストレスコントロール	主体的行動	心身の健康	○健康でたくましい心と体の必要性に気付き、身につけることができる。	○自分の心と体の変化をとらえ、心身の健康を維持することができる。	○卒業後の生活を見据え、自ら心と身体の健康が保てるよう、望ましい生活を考え、実行することができる。		㊫職種や業務内容に合わせて食事や休息を考えて実行することができる。 ㊭遅刻欠勤がなく、正しく勤務することができる。
			ストレスマネジメント	基本的生活習慣の確立	○生活リズムを整え、基本的な食生活や規則正しい生活がわかる。	○自立した生活を意識し、望ましい生活習慣を身につけることができる。	○卒業後の生活を見据え、自ら心と身体の健康が保てるよう、望ましい対処法を考え、実行することができる。		㊫ストレスを解消するために体を動かすなど、自分に合った生活習慣を確立することができる。 ㊭小さな不安を積み重ねることなく、自分で心の安定を図るようにすることができる。 ㊭基本的な生活習慣を身につけ、業務遂行上支障のない勤務態度で業務にあたることができる。
			主体的行動	職業生活に必要な習慣形成	○将来の職業生活に向けた基本的な習慣を身につけることができる。	○職業生活を遂行するのに必要な実践的な習慣を形成することができる。	○職業生活を遂行するのに必要な実践的な習慣を発展させることができる。		㊫就労生活に必要な体力の維持・増進のための食事や規則正しい生活などを習慣化することができる。 ㊭心身の管理も職務遂行のための大切な要素であることを自覚し、欠勤なく仕事にあたることができる。 ㊭勤務時間や祝休日勤務などについても柔軟に対応することができる。
	自己理解	・自分の長所や課題を見つける力 ・他者からの評価を受け入れる力	前向きに考える力	自己有用感、振り返り	○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。 ○活動場面での振り返りを行うことができる。	○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を深めることができる。 ○活動場面での振り返りを定着化することができる。	○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を深め、実生活で活用することができる。 ○活動場面での振り返りをもとに次の活動に生かすことができる。		㊫仕事を理解するために、自分に合った振り返り方などを探り、職場で活躍するために必要な方策を常に考えながら就労生活を送ることができる。
			自己の動機付け	長所・課題の理解	○自分の長所や課題に気付くことができる。	○客観的に自分の長所や課題を評価することができる。	○自分の長所や課題を踏まえて、自分の気持ちや考えをしっかりと持つことができる。		㊫働く上で必要な自分の長所は何かを常に考え、業務に生かせるようアレンジすることができる。 ㊫自分の課題と向き合い改善を図り続けることができる。 ㊭自分の長所と短所を理解して業務にあたることができる。
	自己内省	・集中力　・持久力 ・持続力　・忍耐力 ・積極性　・自主性 ・素直さ　・忠実さ ・負けず嫌い ・前向きである ・様々な物に興味を持つ ・謙虚な心 ・反省の心 ・感謝の心	自己の動機付け	物事に対する意欲	○時間いっぱい集中する意識を持ち、目標を達成しようと学習に取り組むことができる。	○目標を達成するために、集中して学習に取り組むことができる。	○課題解決に向け、自ら物事に取り組むことができる。		㊫職場に必要とされていることを実感しながら働く続けることができる。
			前向きに考える力		○自主的･積極的に活動に取り組む大切さを知り、自ら努力を続けようとする気持ちを持つことができる。 ○目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。	○活動に対し主体的な意見を出し、意欲向上・維持のために工夫をすることができる。 ○目標達成に向けて取り組み、振り返りながら改善を図ることができる。	○意欲向上のための自分に合った活動方法を見いだし、実践することができる。 ○長期的目標・短期的目標を立て、達成に向けて取り組む、改善を図ることができる。		㊫短期的将来設計を行い、適宜振り返り、軌道修正しながら働くことに対する意欲を持ち続けられるよう工夫・努力をし続けることができる。
			前向きに考える力	課題を解決しようとする心	○自己決定･自己反省の過程を繰り返し、課題を解決する姿勢を持つことができる。	○自己決定･自己反省の過程を繰り返し、課題を解決しようとする習慣を身につけることができる。	○自己決定･自己反省の過程を繰り返し、課題解決に向けて具体的に実践することができる。		
	応用力	・計画性 ・余暇の充実	自己の動機付け	やりがい・生きがい	○好きな活動への意欲を学習活動へつなげることができる。	○働くことにやりがいを感じることができる。	○働くことへのやりがいを維持する方法を見いだし、実践することができる。		㊫得た収入を計画的に遣い、生活の充実を図ることができる。
課題対応能力	知識・技術	・公共交通機関の利用 ・金銭管理 ・職種に応じた知識･技能 ・読み書き計算 ・常識 ・マナー ・身だしなみ ・礼儀 ・ルール ・整理整頓	情報の理解・選択・処理等	社会の仕組みなどの知識・技術	○集団生活を通して、社会のルール、マナー、礼儀などを意識して、行動に生かすことができる。	○社会のルール、マナー、礼儀などを、状況に応じて使うことができる。	○学校と社会とでのルールやマナー、礼儀についての捉え方の違いを知り、理解・実践することができる。	豊かな心と健やかな体をつくる生徒 希望に向かって努力する生徒 自ら判断し行動する生徒	㊫社会における常識（ルールや礼儀など）とは何かを常に考え続け、社会に貢献できる行動を日常的に実践することができる。 ㊭職場や生活の場の決まりを守って生活することができる。
			情報の理解・選択・処理等	社会制度やサービスに関する理解と実際生活での利用	○社会のルールや制度、職業に必要な資格、各種サービス、相談機関等に関する情報や知識を理解することができる。	○社会生活上の規範、法の遵守、権利侵害等への対処方法などを理解することができる。	○社会生活上の規範、法の遵守、権利侵害等への対処方法などを、就労生活を見据え模擬的に体感・実践することができる。		㊫社会生活上の規範、法の遵守、権利侵害等への対処方法などを理解し、実践することができる。 ㊭生産数や在庫管理などの数的処理、野菜の名前などの業務遂行上必要な語彙能力を生かして業務に当たることができる。
			計画立案	読み書き計算などの知識・技術	○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身につけることができる。	○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身につけ、日常生活に生かすことができる。	○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を状況に応じて活用することができる。		㊫業務に必要なスキルを常に磨き続けることができる。
	応用力	・情報収集 ・情報活用 ・取捨選択能力 ・危険回避 ・環境への順応性	情報の理解・選択・処理等	情報活用	○学校・寄宿舎・地域社会の中には様々な活動があることを体験を通じて理解できる。 ○社会の出来事に興味を持ち、働く人や仕事について調べることで、情報を得るためには様々な方法があることを体験を通して理解できる。	○社会の出来事に興味をもち、働く人や仕事について調べることで、様々な情報を収集し、自ら活用することができる。	○希望する進路の実現に向け、卒業後の生活に必要な情報収集・取捨選択し、自ら判断して活用することができる。		㊫ICT機器などを利用し、就労生活に必要な情報や余暇の充実につながる情報などの収集を適切に行い、自己責任のもと活用していくことができる。 ㊭自分が業務上体験した経験を組み合わせ、別な課題に対応することができる。
キャリアプランニング能力	知識・技術	・金銭管理 ・常識 ・マナー	将来設計	消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費	○必要なものを計画的に消費することや預貯金などを通して保管の大切さを知ることができる。	○収入と支出のバランスを考え、模擬通貨等を使って、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることができる。	○卒業後の収入と支出のバランスを考え、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることが大切であると分かり、実行する意欲を持つことができる。		㊫家族や職場、世話人など、身近な人と収入と支出のバランスを考え、具体的な計画を立て、実践することができる。 ㊭無年金期間の生活と就労について支援を得ながら組み立てることができる。
			将来設計		○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や、労働の対価としての給与の意味を知ることができる。	○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や、収入と支出のバランスを理解することができる。	○収入に見合った生活を具体的に考え、イメージすることができる。		㊫収入に見合った生活を送ることができる。
	職業	・責任感 ・向上心 ・自立心 ・実行力 ・職業理解・分析能力 ・働く意識 ・働く喜びを知る ・将来の目標を立てる力 ・将来の目標に向けて課題を解決する力	行動と改善	他者評価の受容	○他者から受けた評価に、耳を傾け、理解することができる。	○他者の考えや個性を尊重し、自分との差異を認めながらも受容することができる。	○他者の気持ちや考えを理解・尊重し、自分のあり方・生き方に生かすことができる。		㊫思い通りにいかないときこそ自分の言動を振り返り、修正していく習慣を身に付け、常に実践することができる。 ㊭感情の起伏を小さくし、まわりに影響が出ないよう、落ち着いて業務に当たることができる。 ㊭まわりの指導助言に対して、気持ちを切り替えて改善の方向に進むメンタルの強さをもつことができる。
			学ぶこと・働くことの意義や役割の理解		○与えられた仕事の意味を理解し、集中して取り組むことができる。	○手早さ、正確さ、丁寧さを意識しながら、与えられた仕事に取り組むことができる。	○就労に必要な資質は何かを常に考え続けながら取り組むことができる。		㊫職場に貢献する働きを常に意識しながら取り組むことができる ㊭未知なこと、新しいことにも進んで取り組むことができる。 ㊭自分の職能を仕事の場で生かしたり、転用したりして、収益効率を上げることができる。 ㊭（学校で身につけた体力、粗大～微細にわたる運動能力を生かして、幅広い仕事内容に対応することができる。
			行動と改善		○自分の言動が相手に及ぼす影響について知ることができる。	○相手の立場を考えた言動を心掛けることができる。	自分の言動に責任をもち、必要に応じて改善を図ることができる。		㊫自分の言動には責任が伴うことを常に意識しながら行動することができる。
			多様性の理解	職業理解	○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに関心を持つことができる。	○職場見学や実習を通して様々な職業を知り、自分に合った仕事を見極めることができる。	○就労生活に向けた具体的な生活を考え、自分の進路を選択し決定することができる。		㊫就労先で様々な業務があることを知り、一つでも多くの業務を覚えられるよう工夫しながら働くことができる。
			学ぶこと・働くことの意義や役割の理解		○身の回りのいろいろな職業が社会や生活に果たしている役割や意義を理解し、その仕事に求められる能力などを考えることができる。 ○職業との関係における自分の能力や適性を理解することができる。	○自分の能力や適性を踏まえて、将来の職業について具体的に考えることができる。	○職業生活の中にやりがいや生きがいを見いだし、前向きに自己の未来を設計するなど、社会の一員である意識を持つことができる。		㊫労働の対価に見合う働きについて常に考えながら仕事に取り組むことができる。
			学ぶこと・働くことの意義や役割の理解	社会における役割理解	○学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行することができる。	○社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解することができる。	○社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解し、実行することができる。		㊫社会の一員であることを常に意識し、責任ある行動を心掛けることができる。 ㊭学生のうちに多様な体験を積んで、基本的な対処ができる。
	応用力	・判断力 ・計画性 ・意思決定 ・効率性	選択	TPOに応じた意思決定・感性	○TPOに応じて何ができるか、何をすべきか考え、判断し選択することができる。	○自己の個性や興味・関心に基づいて、TPOに応じたよりよい選択をすることができる。	○卒業後の家庭生活・社会生活・職業生活において、自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うことができる。		㊫自分の言動には責任が伴うことを意識し、TPOに応じた言動を常に心掛け、使い分けながら臨機応変に行動することができる。 ㊭言われて動くのではなく、自分で探して判断し、確認しながら仕事ができる。
			将来設計	将来設計	○目標を達成するためには行程があることを理解し、与えられた計画や行程に取り組むことができる。	○学校・寄宿舎生活、家庭生活において、計画を立て、物事に主体的に取り組むことができる。	○社会生活・職業生活等に必要な習慣を確立するとともに、余暇の活用等を図り、心豊かな理想とする将来の生活を前向きに設計することができる。		㊫長期的将来設計を行い、適宜振り返り、軌道修正しながら働くことに対する意欲を持ち続けられるよう工夫・努力をし続けることができる。 ㊭自分の将来をイメージして目標を立て、計画的に自分の職能を上げていくことができる。 ㊭勤務経験に応じて資格を取得し、より高い専門性を身につけようとする姿勢をもつことができる。

今養版キャリアプランニング・マトリックス～生涯の観点～（試案・令和2年10月現在）

資料1-4①

基礎的・汎用的能力の視点	指導観点	観点の中身（解説）	教科等との関連	具体的な要素（例）	指導の柱	1学年段階（学びを通して気づく・知る）	2学年段階（将来を意識し、自ら学ぶ・行動する）	3学年段階（将来を見据え、自ら学ぶ・行動する）		生涯にわたっての段階（就労定着を目指して思考・判断・表現する）
人間関係形成・社会形成能力	コミュニケーション	・表現力 ・声の大きさ ・あいさつ・返事 ・報告・連絡・相談 ・言葉遣い ・話す・聞く ・協調性 ・人づきあい ・他者理解 ・感じる力	国語 社会 生活単元学習	コミュニケーション・スキル	自分から相手に発信	○場や状況に合わせた声の大きさで、挨拶・返事・報告ができる ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。	○場や状況に応じ、自分の考えを発信することができる。	○その場に応じた挨拶・返事・報告や相手の人権を尊重した発言をすることができる。	学校教育目標の達成	㊐TPOに合わせた距離感を学び続け、実践することができる。 ㊥自分の現状の実力を正しく理解し、自分の立ち位置や周囲との関係性を正しく構築することができる。 ㊥異性との距離や言葉遣いなどについて、常に緊張感をもって場に応じた対応をすることができる。
			国語 社会 生活単元学習	コミュニケーション・スキル	状況に応じた言葉遣いや振る舞い	○相手の立場を考えて話したり行動したりすることができる。 ○場や状況に応じた適切な言葉遣い、服装、身だしなみを心がけることができる。 ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。	継続	継続		㊐TPOに合わせた振る舞い方を学び続け、実践することができる。 ㊥施設に馴染むための行動が取られる。 ㊥障がい特性を踏まえ、周囲と調和してはたらく術を身につけ、それを職場で生かすことができる。
			国語 社会 生活単元学習	他者に働きかける力	必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力	○必要な支援を他者に求めることができる。	○必要な情報を伝えたり、自分の悩みを話せたりする関係を築き自分の思いや意見を適切に伝えることができる。	継続		㊐同僚、上司、相談機関、卒後支援など、日常から相談できる相手を選択・決定し、日常から自分の状況を言葉で適切に伝え、支援を求めることができる。 ㊥メールや画像添付、成果物などをとおして、的確に上司や仲間に報連相することができる。
			国語 生活単元学習	他者の個性を理解する力	相手を受け入れ、自らそこに参加する	○相手の考え・気持ちを受け入れたり、集団に合わせたりすることができる。 ○自分と相手の違いに気付き、異性や異年齢の人たちと共に活動することができる。	○相手の立場や考え方を理解して受け入れ、かかわることができる。	○自分や他者のよい点を認め、思いやりを持って、よりよい人間関係を作り上げることができる。		㊐日常から感謝の心や敬う気持ちを持ち、人と接することができる。 ㊐物事を柔軟に受け入れる心を育む習慣を身につけることができる。 ㊥天候や予定、人などの環境変化に適応できる。 ㊥出身地や居住地の環境を生かし、お客様とコミュニケーションをとることを通して、愛される存在になることができる。 ㊥自己主張や愚口、陰口などを言わず、周囲への気配り職場の和を保つことができる。 ㊥会社に対して「働かせていただいている」という姿勢でいることができる。
	応用力	・洞察力 ・理解力 ・柔軟性 ・自己統制力 ・協力	社会 作業学習 生活単元学習	チームワーク	人間関係	○集団活動に参加し、他者と協力することができる。	○集団において自分が果たす役割を理解し、周りと協力することができる。	○集団の一員として自ら役割を理解し、協力していくとともに、その役割を遂行していくことができる。		㊐職場での役割を理解し、職場に貢献するために必要な対人面での資質を高める（雰囲気や場の空気を読む、柔軟性など）。 ㊥職場でのコミュニケーションを適切にとることができる。 ㊥職場の人との協調性を保つことができる。
			社会 作業学習 生活単元学習	チームワーク		○リーダーとフォロアーの立場を理解し、チームとして協力・共同して活動に取り組むことができる。	継続	継続		㊐上司や職場の方から言われたことを忠実に守り、職場に貢献できる取り組みを常に心掛ける。 ㊐社会人になってからの年数に応じた振る舞いを心掛ける。 ㊥上司からの指示や指導を正しく理解し、それに従うことができる。 ㊥挨拶、返事、目を見て聞く、指導に対して素直に聞くことができる。
自己理解・自己管理能力	心と体	・元気 ・体力 ・健康 ・食生活 ・睡眠・休養 ・規則正しい生活 ・ストレスコントロール	日常生活の指導 保健体育	主体的行動	心身の健康	○健康でたくましい心と体の必要性に気付き、身につけることができる。	○自分の心と体の変化をとらえ、心身の健康を維持することができる。	○卒業後の生活を見据え、自ら心と身体の健康が保てるよう、望ましい生活を考え、実行することができる。		㊐職種や業務内容に合わせて食事や休息を考えて実行することができる。 ㊥遅刻欠勤がなく、正しく勤務することができる。
			日常生活の指導 家庭 保健体育	ストレスマネジメント	基本的生活習慣の確立	○生活リズムを整え、基本的な食生活や規則正しい生活がわかる。	○自立した生活を意識し、望ましい生活習慣を身につけることができる。			㊐ストレスを解消するために体を動かすなど、自分に合った生活習慣を確立することができる。 ㊥小さな不安を積み重ねることなく、自分で心の安定を図るようにすることができる。 ㊥基本的な生活習慣を身につけ、業務遂行上支障のない勤務態度で業務にあたることができる。
			日常生活の指導 職業 家庭	主体的行動	職業生活に必要な習慣形成	○将来の職業生活に向けた基本的な習慣を身につけることができる。	○職業生活を遂行するのに必要な実践的な習慣を形成することができる。	継続		㊐就労生活に必要な体力の維持・増進のための食事や規則正しい生活などを習慣化することができる。 ㊥心身の管理も職務遂行のための大切な要素であることを自覚し、欠勤なく仕事にあたることができる。 ㊥勤務時間や祝休日勤務などについても柔軟に対応することができる。
	自己選択	・自分の長所や課題を見つける力 ・他者からの評価を受け入れる力	国語 職業 作業学習	前向きに考える力	自己有用感、振り返り	○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。 ○活動場面での振り返りをもとに次の活動に生かすことができる。	継続	継続		㊐仕事を理解するために、自分に合った振り返り方などを探り、職場で活躍するために必要な方策を常に考えながら就労生活を送ることができる。
			国語 職業	自己の動機付け	長所・課題の理解	○自分の長所や課題に気付くことができる。	○客観的に自分の長所や課題を評価することができる。	○自分の長所や課題を踏まえて、自分の気持ちや考えをしっかりと持つことができる。		㊐働く上で必要な自分の長所は何かを常に考え、業務に生かせるようアレンジすることができる。 ㊐自分の課題と向き合い改善を図り続けることができる。 ㊥自分の長所と短所を理解して業務にあたることができる。
	自己内省	・集中力　・持久力 ・持続力　・忍耐力 ・積極性　・自主性 ・意欲　・改善力 ・負けず嫌い ・前向きである ・様々な物に興味を持つ ・謙虚な心 ・反省の心 ・危険の心	全教育課程 作業学習	自己の動機付け	物事に対する意欲	○時間いっぱい集中する意識を持ち、目標を達成しようと学習に取り組むことができる。	○目標を達成するために、集中して学習に取り組むことができる。	○課題解決に向け、自ら物事に取り組むことができる。		㊐職場に必要とされていることを実感しながら働く続けることができる。
			国語 作業学習	前向きに考える力		○自主的・積極的に活動に取り組む大切さを知り、自ら努力を続けようとする気持ちを持つことができる。 ○目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。	継続	継続		㊐短期的将来設計を行い、適宜振り返り、軌道修正しながら働くことに対する意欲を持ち続けられるよう工夫・努力をし続けることができる。
			全教育課程	前向きに考える力	課題を解決しようとする心	○自己決定・自己反省の過程を繰り返し、課題を解決する姿勢を持つことができる。	○自己決定・自己反省の過程を繰り返し、課題を解決しようとする習慣を身につけることができる。	継続		
	応用力	・計画性 ・金銭の充実	数学 社会 職業	自己の動機付け	やりがい・生きがい	○好きな活動への意欲を学習活動へつなげることができる。	○働くことにやりがいを感じることができる。	継続		㊐得た収入を計画的に遣い、生活の充実を図ることができる。
課題対応能力	知識・技術	・公共交通機関の利用 ・金銭管理 ・職種に応じた知識・技能 ・読み書き計算 ・常識 ・マナー ・身だしなみ ・礼儀 ・ルール ・整理整頓	社会 日常生活の指導 自立活動	情報の理解・選択・処理等	社会の仕組みなどの知識・技術	○集団生活を通して、社会のルール、マナー、礼儀などを意識して、行動に生かすことができる。	○社会のルール、マナー、礼儀などを、状況に応じて使うことができる。	継続	豊かな心と健やかな体をつくる生徒 希望に向かって努力する生徒 自ら判断し行動する生徒	㊐社会における常識（ルールや礼儀など）とは何かを常に考え続け、社会に貢献できる行動を日常的に実践することができる。 ㊥職場や生活の場の決まりを守って生活することができる。
			社会 生活単元学習 職業	情報の理解・選択・処理等	社会制度やサービスに関する理解と実際生活での利用	○社会のルールや制度、職業に必要な資格、各種サービス、相談機関等に関する情報や知識を理解することができる。	○社会生活上の規範、法の遵守、権利侵害等への対処方法などを理解することができる。	継続		㊐社会生活上の規範、法の遵守、権利侵害等への対処方法などを理解し、実践することができる。 ㊥生産数や在庫管理などの数的処理、野菜の名前などの業務遂行上必要な語彙能力を生かして業務に当たることができる。
			数学　社会 職業 生活単元学習	計画立案	読み書き計算などの知識・技術	○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身につけ日常生活に生かすことができる。	継続	継続		㊐業務に必要なスキルを常に磨き続けることができる。
	応用力	・情報収集 ・情報活用 ・取捨選択能力 ・危険回避 ・環境への順応性	社会 国語 職業 生活単元学習	情報の理解・選択・処理等	情報活用	○学校・寄宿舎・地域社会の中には様々な活動があることを体験を通じて理解できる。 ○社会の出来事に興味を持ち、働く人や仕事について調べることで、情報を得るためには様々な方法があることを体験を通じて理解できる。	○社会の出来事に興味をもち、働く人や仕事について調べることで、様々な情報を収集し、自ら活用することができる。	○希望する進路の実現に向け、卒業後の生活に必要な情報収集・取捨選択し、自ら判断して活用することができる。		㊐ICT機器などを利用し、就労生活に必要な情報や余暇の充実につながる情報などの収集を適切に行い、自己責任のもと活用していくことができる。 ㊥自分が業務上体験した経験を組み合わせ、別な課題に対応することができる。
キャリアプランニング能力	知識・技術	・金銭管理 ・常識 ・マナー	数学 社会 職業	将来設計	消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費	○必要なものを計画的に消費することや預貯金などを通して保管の大切さを知ることができる。	○収入と支出のバランスを考え、模擬通貨等を使って、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることができる。	○卒業後の収入と支出のバランスを考え、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることが大切であると分かり、実行する意欲を持つことができる。		㊐家族や職場、世話人など、身近な人と収入と支出のバランスを考え、具体的な計画を立て、実践することができる。 ㊥無年金期間の生活と就労について支援を得ながら組み立てることができる。
			数学 社会 職業	将来設計		○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や、労働の対価としての給与の意味を知ることができる。	継続	継続		㊐収入に見合った生活を送ることができる。
	職業	・責任感 ・向上心 ・自立心 ・実行力 ・職業理解・分析能力 ・働く意識 ・働く喜びを知る ・将来の目標を立てる力 ・将来の目標に向けて課題を解決する力	道徳	行動と改善	他者評価の受容	○他者から受けた評価に、耳を傾け、理解することができる。	○他者の考えや個性を尊重し、自分との差異を認めながらも受容することができる。	○他者の気持ちや考えを理解・尊重し、自分のあり方・生き方に生かすことができる。		㊐思い通りにいかないときこそ自分の言動を振り返り、修正していく習慣を身に付け、常に実践することができる。 ㊥感情の起伏を小さくし、まわりに影響が出ないよう、落ち着いて業務に当たることができる。 ㊥まわりの指導助言に対して、気持ちを切り替えて改善の方向に進むメンタルの強さをもつことができる。
			職業	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解		○与えられた仕事の意味を理解し、集中して取り組むことができる。	○手早さ、正確さ、丁寧さを意識しながら、与えられた仕事に取り組むことができる。	継続		㊐職場に貢献する働きを常に意識しながら取り組むことができる ㊥未知なこと、新しいことにも進んで取り組むことができる。 ㊥自分の職能を仕事の場で生かしたり、転用したりして、収益効率を上げることができる。 ㊥（学校で身につけた体力、粗大～微細にわたる運動能力を生かして、幅広い仕事内容に対応することができる。
			国語 社会	行動と改善		○自分の言動が相手に及ぼす影響について知ることができる。	継続	継続		㊐自分の言動には責任が伴うことを常に意識しながら行動することができる。
			職業 社会	多種性の理解	職業理解	○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに関心を持つことができる。	継続	継続		㊐就労先で様々な業務があることを知り、一つでも多くの業務を覚えられるよう工夫しながら働くことができる。
			職業 社会	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解		○身の回りのいろいろな職業が社会や生活に果たしている役割や意義を理解し、その仕事に求められる能力などを考えることができる。 ○職業との関係における自分の能力や適性を理解することができる。	○自分の能力や適性を踏まえて、将来の職業について具体的に考えることができる。	○職業生活の中にやりがいや生きがいを見いだし、前向きに自己の未来を設計するなど、社会の一員である意識を持つことができる。		㊐労働の対価に見合う働きについて常に考えながら仕事に取り組むことができる。
			社会 道徳	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解	社会における役割理解	○学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行することができる。	○社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解し、実行することができる。	継続		㊐社会の一員であることを常に意識し、責任ある行動を心掛けることができる。 ㊥学生のうちに多様な体験を積んで、基本的な対処ができる。
	応用力	・判断力 ・計画性 ・意思決定 ・効率性	社会 生活単元学習 職業	選択	TPOに応じた意思決定・感性	○TPOに応じて何ができるか、何をすべきか考え、判断し選択することができる。	○自己の個性や興味・関心に基づいて、TPOに応じたよりよい選択をすることができる。	○卒業後の家庭生活・社会生活・職業生活において、自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うことができる。		㊐自分の言動には責任が伴うことを意識し、TPOに応じた言動を常に心掛け、使い分けながら臨機応変に行動することができる。 ㊥言われて動くのではなく、自分で探して判断し、確認しながら仕事ができる。
			社会 職業 全教育課程	将来設計	将来設計	○目標を達成するためには行程があることを理解し、与えられた計画や行程に取り組むことができる。	○学校・寄宿舎生活、家庭生活において、計画を立て、物事に主体的に取り組むことができる。	○社会生活・職業生活等に必要な習慣を確立するとともに、余暇の活用等を図り、心豊かな理想とする将来の生活を前向きに設計することができる。		㊐長期的将来設計を行い、適宜振り返り、軌道修正しながら働くことに対する意欲を持ち続けられるよう工夫・努力をし続けることができる。 ㊥自分の将来をイメージして目標を立て、計画的に自分の職能を上げていくことができる。 ㊥勤務経験に応じて資格を取得し、より高い専門性を身につけようとする姿勢をもつことができる。

今養版キャリアプランニング・マトリックスと各教科・形態の指導目標との関連一覧表（ 試案 ・令和2年12月現在 ）

資料1-4②

基礎的・汎用的能力の視点	指導観点	観点の中身(解説)	具体的な要素(例)	指導の柱	１学年段階 （学びを通して気づく・知る）	単元の目標 国語	数学	音楽	保健体育	美術	生活単元学習 総合的な探究の時間	作業学習 家庭総合科	作業学習 農業科	作業学習 商業科		
人間関係形成・社会形成能力	コミュニケーション	・表現力 ・声の大きさ ・あいさつ・返事 ・報告・連絡・相談 ・言葉遣い ・話す・聞く ・協調性 ・ふれあい ・他者理解 ・感じる力	コミュニケーション・スキル	自分から相手に発信	○選び状況に合わせた声の大きさで、挨拶・返事・報告ができる ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。	・簡単な自己紹介ができる。 ・発声や発音に気を付けて話したり、聞いた話を書き写したりすることができる。 ・話を聞いて、内容を書き写したり、要点をまとめたりすることができる。 ・自分が思った簡単な意見を述べることができる。 ・作文の記入のきまりを理解し、書くことができる。 ・見聞きしたことや経験したことを順序立てて、書くことができる。 ・自分の気持ちや感じたことを言葉で伝えることができる。 ・丁寧語や謙譲語など立場による表現の違いを知ることができる。 ・現場実習の礼状など自分の気持ちや感謝の気持ちを文章で書くことができる。 ・日常使われる漢字の読み書きをすることができる。 ・学んだことを文章にまとめることができる。 ・クリスマスカードや年賀状など、季節に合わせた手紙（はがき）を書くことができる。 ・ポールペンなどを使って書写することができる。 ・人の意見を聞き取り、自分の意見を述べることができる。 ・自分の作文を読んだり、他の人の作文を聞いたりして、自分に置き換えて考えることができる。	・年間の学習内容を知り、見通しや意欲をもつことができる。 ・物差しやはかりの使い方を理解し、正しく長さを計測することができる。 ・午前、午後の意味を理解することができる。 ・秒針、短針、長針の意味を理解することができる。 ・時刻表の読み方が理解でき、目的地までの移動時間や待ち時間を理解することができる。 ・時間の単位を理解できる。 ・お金の種類や大小を理解することができる。 ・具体物の合計金額を求めることができる。 ・おつりの意味を知り、求めることができる。 ・収支や支出、残高などの意味を理解し、電卓を使い正しく記入することができる。 ・百分率（%）、歩合の意味とその表し方がわかる。 ・長さや重さの単位を理解し、換算することができる。 ・長さや重さを計測する道具の使用法を理解し、正しく計測することができる。 ・図形の名称と形がわかる。 ・広さや面積を求めることができる。 ・立体の名称と形がわかる。 ・体積を求めることができる。 ・表やグラフの見方がわかる。 ・１年間学んだ内容を振り返ることができる。	・年間の学習内容を理解することができる。 ・対面式や各行事に向けて、正しく歌詞や音程を覚え、大きな声で校歌を歌うことができる。 ・プロや仲間の発表を鑑賞することで、様々な表現を知ることができる。 ・テーマに合わせて曲を作ったり、ダンスを考えたりすることができる。 ・学校祭やフレンドリーライブで取り組む曲や学習内容を理解することができる。 ・歌詞や音程、リズムやハーモニーなどを意識して歌うことができる。 ・仲間の発表を鑑賞することで、良いところを自分に取り入れることができる。 ・より良い表現について考え、発表することができる。 ・基本的な音符について理解することができる。 ・様々な楽器の特徴を知り、演奏することができる。 ・様々な曲に取り組むことで、表現力を高めることができる。 ・卒業式で取り組む曲について理解することができる。 ・国歌や校歌、卒業式歌の歌詞や音程などを覚え、大きな声で歌うことができる。 ・１年間の活動内容、学びを振り返ることができる。	・授業の流れを知り、見通しをもつことができる。 ・リーダーの指示に従って行動することができる。 ・安全に留意して行動することができる。 ・記録を測定し、現段階の能力を知る。 ・投げる、捕る、打つなどの基本的な技術を身に付けることができる。 ・止まったボールや軽く投げられたボールを打つことができる。 ・簡易的な試合ができる。 ・体育祭の流れを知り、見通しをもつことができる。 ・よさこいの動きや学年種目の内容を知る。 ・リズミカルにバタ足をすることができる。 ・手の動きに呼吸を合わせて泳ぐことができる。 ・パス、ドリブル、シュートなどの基本的な技術を知り、実践することができる。 ・障がい者スポーツに挑戦し、新たなスポーツを知ることができる。 ・基本的な回転技ができる。 ・発展技に挑戦することができる。 ・ボードの印を狙ってボールを投げることができる。 ・スキーの板や靴の準備を自分で行うことができる。 ・スキーを一人で着脱することができる。 ・バランスを保ち、スキーを滑らせることができる。 ・サッカーとフットサルの違いを知る。	・年間の学習内容を理解することができる。 ・校舎の周りに生えている植物を自分の感性でとらえ、伝えたい思いを込めて描くことができる。 ・ステンドグラスの技法を使って、イラストをセロハンにカッティングして小物入れを作ることができる。 ・オリジナルキーホルダーを作成することができる。 ・安全に配慮しながら、集中して取り組むことができる。 ・玉ねぎを精密に描くことができる。 ・観察力を高めることができる。 ・鋼板を使って、彫金作業を行うことができる。 ・墨の濃淡とにじみで絵を描くことができる。 ・グループで話し合って、海の底を表現することができる。 ・絵手紙を描くことができる。 ・物体の影を認識し、混色の技法を理解することができる。 ・仲間と協力して、絵を仕上げることができる。	・生活単元学習で行う学習内容がわかり、１年間の学習の見通しをもつことができる。 ・今金町についての知識を深めることができる。 ・進路を自己選択、自己決定するための情報を知ることができる。 ・卒業後の生活や働くことの意味について知る。 ・自分の心や体を大切にする気持ちをもつことができる。 ・性に関する正しい知識を身に付けることができる。 ・男性と女性では、意識や考え方に違いがあることについて、理解を深めることができる。 ・施設の見学や野外活動を通して、地域の歴史や文化、自然に触れ、 理解を深めるとともに、その魅力を体感するができる。 ・仲間とともに活動してその楽しさを体感させるとともに、集団行動や公共のマナーを理解し、行動に移すことができる。 ・現場実習の意義や目的を理解し、働くために必要な知識や態度を学ぶことができる。 ・自分の進路について関心をもち、積極的に学習に取り組むことができる。 ・現場実習を振り返り、課題と成果を明らかにし、今後の生活に目標をもつことができる。 ・身だしなみや清潔について自分の生活を振り返って考えることができる。 ・パソコンの基本的な使用方法を知ることができる。 ・ワープロソフトを使って文書を作ることができる。 ・得た知識や経験を振り返り、自分自身は３年間でどのように学び、成長していきたいかを考えることができる。 ・壁新聞を作るための自分の役割を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。 ・バランスの良い食事を考えることができる。 ・簡単な調理を行うことができる。 ・仲間と協力して活動することができる。 ・心と体が相関関係にあることを知ることができる。 ・大人としての人との関り方や行動について知ることができる。 ・自己理解を深めることができる。 ・働いて生活することの大切さについて理解を深め、働くことに関心をもつことができる。 ・実習先の仕事内容や自分の役割を知ることができる。	・作業学習について理解できる。 ・商品開発の流れについて理解することができる。また、食品衛生上の注意点についても学ぶことができる。 ・商品開発の各段階において、必要な知識を踏まえて作業に当たることができる。 ・消費者の立場に立った視点で商品開発に参加することができる。 ・製品を作る作業工程や注意点を理解することができる。 ・製品の製造数を踏まえ、あらかじめ立てられた作業計画、手順にしたがって製造することができる。 ・製品を作る作業工程を理解し、効率のよい作業環境になるよう工夫することができる。 ・製品の製造数を踏まえ、グループ等で作業計画と手順を設定し、それにしたがって製造することができる。 ・１年間の学習の見通しをもつことができる。 ・教師の指示を踏まえて安全に活動できる。 ・作業工程にしたがって、安全に作業を進めることができる。 ・安全と衛生に配慮し、報告や連絡、相談などを適切に行うことができる。 ・各種作業内容の流れや材料、機材や注意点などに関する教師の指導を理解することができる。 ・工程と製造量を確認し、効率よく正確に作業することができる。 ・作業に必要な道具や材料、分量などを理解することができる。 ・必要に応じてメモを取ったり、分からないことを教師に確認したりして作業することができる。 ・手順を確認し、効率よく丁寧に作業することができる。 ・作業方法の知識を生かして、作業することができる。 ・作業内容と効率を考えて作業することができる。 ・挨拶や言葉遣い、作業態度などについて、きびきびと行動することができる。 ・手先を使った細かい作業を丁寧にすることができる。 ・他学科の作業学習内容について理解できる。	・道具の扱い方を知り、安全に正しく使うことができる。 ・１年間の作業の流れを確認することができる。 ・安全に留意して取り組むことができる。 ・決められた手順どおりに播種やポット上げをすることができる。 ・指示を理解し、作業に取り組むことができる。 ・玉ねぎの育て方を知り、育てることができる。 ・玉ねぎの収穫から在庫管理までの仕方を知り、管理することができる。 ・玉ねぎを決められたサイズごとに選別することができる。 ・スイートコーンの育て方を知り、育てることができる。 ・スイートコーンを収穫し、選別することができる。 ・接客の仕方について知り、実践することができる。 ・決められた箇所を時間内に除雪することができる。 ・洗い残しがないように洗い物ができる。 ・指示を理解し、作業に取り組むことができる。	・学習した内容を理解し、取り組むことができる。 ・目標や課題を意識し取り組むことができる。 ・製品を丁寧に作り、扱うことができる。 ・道具の名前を知ることができる。 ・道具の置き場所，片付け方を知ることができる。 ・粘土の特性を知ることができる。 ・板づくりの技法を理解することができる。 ・湯呑みづくりの技法を理解することができる。 ・協力して準備や片付けをすることができる。 ・分業体制について理解することができる。 ・販売会へ出品する製品を作製することができる。 ・自分の苦手な作業や得意な作業を知ることができる。 ・作業の説明や指示を聞くことができる。 ・同じ作業を一定時間飽きずに続けることができる。		
			他者に働きかける力	必要な支援を適切に求めた方、相談したりできる表現力	○必要な支援を他者に求めることができる。											
			他者の感性を理解する力	相手を受け入れ、自らもこに参加する	○相手の考え・気持ちを受け入れたり、集団に合わせたりすることができる。 ○自分と相手の違いに気付き、異性や異年齢の人たちと共に活動することができる。											
	応用力	・洞察力 ・理解力 ・柔軟性 ・自己統制力 ・協力	チームワーク	人間関係	○集団活動に参加し、他者と協力することができる。											
			チームワーク		○リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームとして協力・共同して活動に取り組むことができる。											
自己理解・自己管理能力	心と体	・元気 ・体力 ・健康 ・食生活 ・睡眠・休養 ・規則正しい生活 ・ストレスコントロール	主体的行動	心身の健康	○健康でたくましい心と体の必要性に気付き、身につけることができる。											
			ストレスマネジメント	基本的生活習慣の確立	○生活リズムを整え、基本的な食生活や規則正しい生活がわかる。											
			主体的行動	職業生活に必要な習慣形成	○将来の職業生活に向けた基本的な習慣を身につけることができる。											
	自己理解	・自分の長所や課題を見つけること ・他者からの評価を受け入れる力	前向きに考える力	自己有用感、振り返り	○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。 ○活動場面での振り返りをもとに次の活動に生かすことができる。											
			自己の動機付け	長所・課題の理解	○自分の長所や課題に気付くことができる。											
	自己内省	・集中力　・持久力 ・持続力　・忍耐力 ・積極性　・自主性 ・柔軟さ　・忍耐さ ・負けず嫌い ・前向きである ・様々な物に興味を持つ ・謙虚さ ・反省の心 ・感謝の心	自己の動機付け	物事に対する意欲	○時間いっぱい集中する意識を持ち、目標を達成しようと学習に取り組むことができる。											
			前向きに考える力		○自主的・積極的に活動に取り組む大切さを知り、自ら努力を続けようとする気持ちを持つことができる。 ○目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。											
			前向きに考える力	課題を解決しようとする心	○自己決定・自己反省の過程を繰り返し、課題を解決する姿勢を持つことができる。											
	応用力	・計画性 ・余裕の充実	自己の動機付け	やりがい・生きがい	○好きな活動への意欲を学習活動へつなげることができる。											
課題対応能力	知識・技術	・公共交通機関の利用 ・金銭管理 ・職種に応じた知識・技能 ・読み書き計算 ・常識 ・マナー ・身だしなみ ・礼儀 ・ルール ・整理整頓	情報の理解・選択・処理等	社会の仕組みなどの知識・技術	○集団生活を通して、社会のルール、マナー、礼儀などを意識して、行動に生かすことができる。											
			情報の理解・選択・処理等	社会制度やサービスに関する理解と実際生活での利用	○社会のルールや制度、職業に必要な資格、各種サービス、相談機関等に関する情報や知識を理解することができる。											
			計画立案	読み書き計算などの知識・技術	○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身につけ日常生活に生かすことができる。											
	応用力	・情報収集 ・情報活用 ・取捨選択能力 ・危険回避 ・環境への順応性	情報の理解・選択・処理等	情報活用	○学校・寄宿舎・地域社会の中には様々な活動があることを体験を通して理解できる。 ○社会の出来事に興味を持ち、働く人や仕事について調べることで、情報を得るためには様々な方法があることを体験を通して理解できる。											
キャリアプランニング能力	知識・技術	・金銭管理 ・常識 ・マナー	将来設計	消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費	○必要なものを計画的に消費することや預貯金などを通して保管の大切さを知ることができる。											
			将来設計		○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や、労働の対価としての給与の意味を知ることができる。											
	職業	・責任感 ・向上心 ・自立心 ・実行力 ・職業理解・分析能力 ・働く意識 ・働く喜びを知る ・将来の目標を立てる力 ・将来の目標に向けて課題を解決する力	行動と改善	他者評価の受容	○他者から受けた評価に、耳を傾け、理解することができる。											
			学ぶこと・働くことの意義や役割の理解		○与えられた仕事の意味を理解し、集中して取り組むことができる。											
			行動と改善		○自分の言動が相手に及ぼす影響について知ることができる。											
			多様性の理解	職業理解	○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに関心を持つことができる。											
			学ぶこと・働くことの意義や役割の理解		○身の回りのいろいろな職業が社会や生活に果たしている役割や意義を理解し、その仕事に求められる能力などを考えることができる。 ○職業との関係における自分の能力や適性を理解することができる。											
			学ぶこと・働くことの意義や役割の理解	社会における役割理解	○学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行することができる。											
	応用力	・判断力 ・計画性 ・意思決定 ・効率性	選択	TPOに応じた意思決定・感性	○TPOに応じて何ができるか、何をすべきか考え、判断し選択することができる。											
			将来設計	将来設計	○目標を達成するためには行程があることを理解し、与えられた計画や行程に取り組むことができる。											